

社会福祉法人

合併支援業務を開始

合併のマッチング支援、 顔合わせ調整等を実施

近年、社会福祉法人を取り巻く経営環境として、地域においては生産年齢人口の減少をはじめとする本格的な人口減少社会の到来、福祉ニーズの複雑化、多様化、地域社会の変化が進んでおり、社会福祉法人もこうした変化に応じた対応が求められている。

こうしたなか、社会福祉法人制度は、公益性と非営利性を確認・徹底するため、公益法人制度改革等を参考に2016（平成28）年に法改正が行われている。同改正では、①経営組織のカバナンスの強化（評議員会の必置化、一定規模以上の法人への会計監査人の導入等）、②事業運営の透明性（財務諸表・現況報告書・役員報酬基準等の公表に係る規定の整備等）、③財務規律の強化（適正かつ公正な支出管理・いわゆる内部留保の明確化・社会福祉充実残額の社会福祉事業等への計画的な再投資等）、④地域における公益的な取り組みを実施する責務、⑤所轄庁による指導監督の機能強化等が明確化された。

これにより必置化された評議員会では、運

営に係る重要事項の議決機関として、理事、監事、会計監査人の選任・解任、報酬等の決議、定款の変更等のほか、合併の承認（吸収合併消滅法人、吸収合併存続法人、法人新設合併）も行うことが規定されている。なお、理事・評議員等は社会福祉法人と委任の関係にあり（社会福祉法第38条）、善良な管理者の注意をもって委任事務を処理する義務を負う。

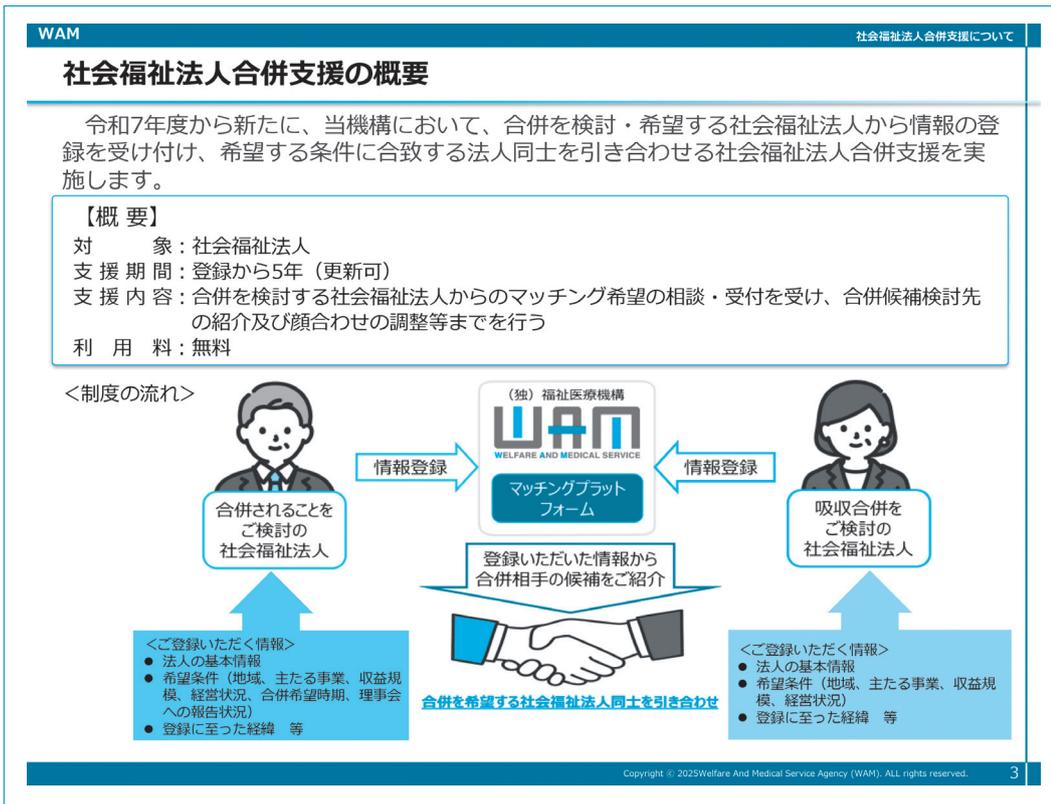
その後、2020（令和2）年度には「社会福祉法人の事業展開に係るガイドライン」等が策定され、合併や事業譲渡等を円滑に進めるうえでの参考となっている。

また、2019（令和元）年度の「社会福祉法人の事業拡大等に関する調査研究事業」では、合併や事業譲渡等の「必要性を感じていない」という回答が55.5%（回答法人数402）と半数を超えていた。しかし、近年の人材確保難や物価上昇、経営層の高齢化等、また小規模事業者ほど収益性・賃金水準・人手確保等が厳しい傾向にあり、事業承継・再編ニーズも増えていることから、「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024年改訂版」が2024（令和6）年6月21日に閣議決定された。この計画には、福祉医療機構による経営支援を進めることが

福祉医療機構では、2025年度から新たに、合併を検討・希望する社会福祉法人からの情報登録を受け付け、希望する条件に合致する法人同士を引き合わせる「社会福祉法人合併支援業務」を開始しています（無料）。顔合わせ以降は両法人間で交渉することとなりますが、経営に悩む法人も多いなか、取り組み内容や手順等を紹介します。



図1 社会福祉法人合併支援の概要



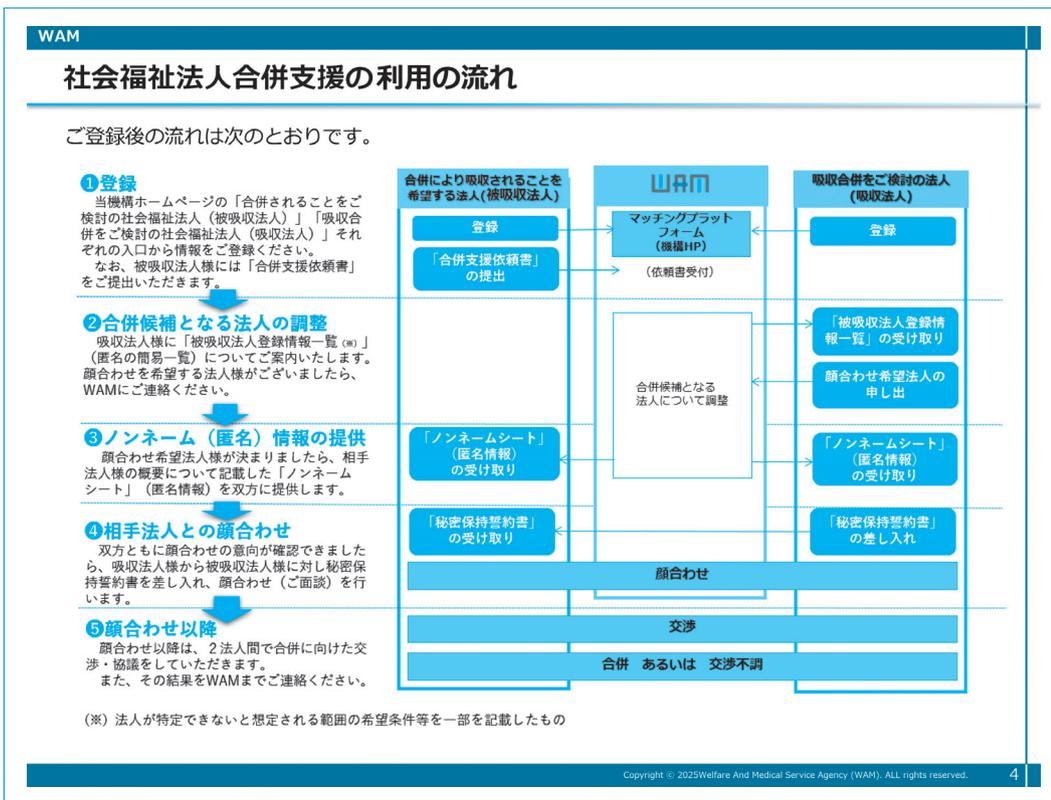
記載されている。
 こうした経緯を踏まえ、福祉医療機構では2025（令和7）年度から、「社会福祉法人合併支援業務」を開始している（図1）。

具体的には、合併を検討する社会福祉法人からのマッチング希望の相談・受付から、合併候補検討先の紹介と顔合わせの調整等まで

を行う（利用料は無料）。利用の流れは図2の通りとなっている。顔合わせ以降は、2法人間で合併に向けた交渉・協議を行うことになる。

なお、合併相手として相手方を評価するための調査（デューデリジェンス）、相手方との交渉や合併にかかる契約締結等の事務、手

図2 社会福祉法人合併支援の利用の流れ



続きについては、法人の責任において実施することとなる。法令上の合併の手続きは、図3（4頁）のようになっている。

社会福祉法人合併支援の申請は、福祉医療機構のホームページから経営サポート↓社会福祉法人合併支援に進み（5頁図4）、「合併により吸収されることを検討している法人」と「吸



多角的支援で地域を守る、 困りごとに寄り添う医療のかたち

— 奈良県大和高田市・社会医療法人健生会 ^{どんご} 土庫病院 —

福祉医療機構では、地域の福祉医療基盤の整備を支援するために、有利な条件での融資を行っています。今回は、その融資制度を利用された奈良県大和高田市の土庫病院を取りあげます。同院は安心して住み続けられるまちづくりを目指し、地域に根ざした医療を実践しています。地域で担う役割や法人合併の経緯について取材しました。

無差別・平等の医療提供を 実践

奈良県大和高田市にある社会医療法人健生会土庫病院（理事長：横山知司氏）は、「無差別・平等の医療、安全・安心で信頼される医療を実践します」という法人理念のもと、地域に根ざした医療を提供するとともに、安心して住み続けられるまちづくりに取り組んでいる。

法人の沿革としては、昭和30年に同院の前身となる診療所を開設したことはじまる。昭和34年に医療法人健生会を設立し、昭和40年に診療所の廃止に伴い、新たに30床の土庫病院を開設した。診療所の開設から70年以上にわたって地域医療を支え続けており、平成25年には社会医療法人の認可を受けている。

法人施設は、大和高田市を中心に、土庫病院をはじめ、診療所（5カ所）、介護老人保健施設、看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護、訪問介護、通所介護、居宅支援事業所を運営し、退院後に在宅療養を支える体制を整備している。

土庫病院の病床数は199床で、その内訳は一般病床88床、地域包括ケア病床111床となっている。内科、小児科、大腸肛門科を中心に地域医療を支えるとともに、救急指定病院として積極的に救急患者の受け入れを行っている。

同院が地域で担っている医療機能や役割について、院長の吉川周作氏は次のように説明する。

「救急医療では『断らない医療』を合言葉に、対応できる疾患については24時間365日体制で受け入れ、救急搬送の受け入れ数は年間2000件に達しています。ま

施設の概要

社会医療法人健生会 土庫病院

〒635-0022 奈良県大和高田市日之出町12-3

TEL 0745-53-5471

FAX 0745-22-0517

URL <https://kenseikai-nara.or.jp>

病院開設：昭和30年

理事長：横山 知司

院長：吉川 周作

病床数：199床（一般病床88床、地域包括ケア病床111床）

診療科：内科、外科、消化器内科、整形外科、皮膚科、大腸肛門科、リハビリテーション科

法人施設：吉田病院（312床）、おかたに病院（150床）、診療所18カ所、介護老人保健施設2カ所、訪問看護7カ所、訪問介護6カ所、看護小規模多機能型居宅介護など 計55事業所



た、中南和地域の小児二次救急輪番に参加するとともに、運営する『土庫こども診療所』や近隣の医療機関と連携し、小児の救急医療と入院医療にも対応しています。また、当法人が運営する医療施設では、経済的な理由により適切な医療が受けられない人に対して、無料低額診療事業を実施するとともに、個室を含めた病室の差額ベッド料を徴収しないことにより、法人理念に掲げる『無差別・平等



続きは、

月刊誌 **WAM**

本誌にてご覧ください。

定期購読のご案内

月刊誌「WAM」は1年間の定期購読誌です。

購読料／1年間・・・8,988円(税、送料込)

体裁／A4変型判 本文36ページ

編集・発行／独立行政法人福祉医療機構

編集協力／株式会社法研

[定期購読のお申し込みはこちら](#)

お問い合わせ

〒105-8486 東京都港区虎ノ門4-3-13ヒューリック神谷町ビル9階

独立行政法人福祉医療機構 総務部 広報課

TEL:03-3438-9240 fax:03-3438-9949